

Sagabi
News 73

73

2019(令和元)年度 収支決算報告

本学園は、学生から納付された授業料等の学納金と国庫補助金を大きな収入源としており、その他、種々の手数料や寄付金を加えて、学生の教育や課外活動、教員の研究活動、地域社会との連携事業等にかかる経費を賄っています。また、日々の教育研究活動を支える校舎の安全性・利便性確保やパソコンをはじめとする設備の更新を行いつつ、収支のバランスを保ちながら拡充のために投資や将来に向けての積立を行います。

○4つの計算書類

資金収支計算書は、1年間の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と資金の顛末を表す計算書です。その資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」と3区分に組み替え、活動ごとのキャッシュフローを明確にする目的で新設されたのが、活動区分資金収支計算書です。また事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書を改良したもので、1年間の学校の事業に係る収入と支出の内容と均衡の状態を明らかにするもので、企業会計という損益計算書にあたります。大学は営利団体ではないので、利益を出すことを目的とはしていませんが、収支のバランスが取れた安定した経営が望まれます。また貸借対照表は、年度末の資産と負債、純資産の状況を示しています。

○資金収支計算書の主な科目について

資金収支計算書の収入に関わる科目として、学生生徒等納付金収入は文字通り、学生から徴収した学費です。大学の最も大きな収入源となります。手数料収入は入学検定料や証明手数料、華道免許等申請手数料などが含まれます。寄付金収入には寄付の目的を特定した特別寄付金と教育施設・設備拡充資金として教育全般を支援いただいている一般寄付金の2種類があります。補助金収入は国と地方公共団体からの補助金です。資産売却収入は施設や設備、有価証券などの資産を売却した時に生じる収入です。付随事業・収益事業収入には学生寮の収入である補助活動収入、各種団体からの受託事業による収入や生涯学習講座受講料などの公開講座収入などが含まれます。受取利息・配当金収入は預金の利息等の収入をいいます。雑収入は施設利用料の収入や本学園が加入する私立大学退職金財団から交付される退職資金の収入が主です。前受金収入とは次年度分の授業料等で前年度に受け入れた額をいいます。学校会計では前年度の前受金を資金収入調整勘定の中で差し引いて調整しています。

一方、支出に関わる科目として、まず人件費支出があります。人件費には専任教職員・非常勤教職員、役員すべての人件費と退職金がこれに含まれます。教育研究経費支出は学校本来の事業である教育研究活動を支えるすべての経費のことで、消耗品費や光熱水費、通信運搬費、修繕費、支払手数料、奨学金などに分かれています。管理経費支出も同様に分かれています。中身は法人運営業務や人事に係る費用、学生募集・広報の経費に限られます。借入金等利息支出・借入金等返済支出は文字通り、返済した借入金利息

と元金のこと。施設関係支出は建物や構築物、設備関係支出はパソコンや視聴覚機器などの教育研究用機器備品や管理的業務に使用する機器備品、図書などへの新たな投資額を指します。資産運用支出とは特定の目的をもって資金を積み立てるものです。

○活動区分資金収支計算書の見方

教育活動による資金収支は、資金収支計算書の資金収入及び資金支出のうち、「施設整備等活動」及び「その他の活動」による資金収支をのぞいたもので、キャッシュベースでの本業の教育活動の収支状況を見ることが出来ます。施設整備等活動による資金収支は、施設・設備の取得または売却その他これらに類する活動に係る収支をいいます。（「その他これらに類する活動」とは、資産の増加を伴う施設もしくは設備の改修等であり、施設設備の修繕費や除却に伴う経費は含みません。）当年度に施設設備の購入があったか、財源がどうだったかを見ることが出来ます。その他の活動による資金収支は、財務活動、収益事業活動、預り金の受払い等の経過的活動に係る資金収支並びに収支を伴う過年度修正額をいいます。具体的には、①借入金（学校債）等の借入、返済に係る収支、②有価証券の購入、売却に係る収支、③受取利息・配当金、支払利息等であり、借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見ることが出来ます。

○事業活動収支計算書の見方

事業活動収支計算書は従来の消費収支計算書の改良版です。経常的及び臨時的収支に区分して、それぞれの収支状況を把握できるよう改正されました。さらに経常的な収支を「教育活動収支」と「教育活動外収支」に分けて把握することが出来ます。

各収支の収入の部は、資金収支計算書の学生生徒等納付金収入から雑収入までとほぼ同じで、特別収支に現物寄付の額が新たに加算されています。借入金のように学校法人の負債となるような外部資金は含まず、すべて学校に帰属する収入のみとなっています。

一方、各収支の支出の部は、資金収支計算書の人件費から借入金等利息までとほぼ同じ内容ですが、教育研究経費と管理経費にそれぞれ過去に取得した建物や機器備品の減価償却額を経費として加えています。その他、古くなった資産を処分したことによる費用（資産処分差額）や徴収不能額等を計上しています。施設設備の維持と拡充などにあてるための基本金を最後に差し引いて（組入れて）、当年度の収支差額を出す方式に改められました。

当年度の主な施設設備の整備

令和元年度は施設設備関係の整備として、自動火災報知設備の更新や講堂棟の耐震対策工事、学生ホールの自動ドア設置工事などの改修工事を実施しました。また順次、学内施設のバリアフリー化を進めています。

財政の状況

資金収支計算書の収入の部では、学生数の増加に伴い、学生生徒等納付金は前年度に比べ大幅に増加しました。一般補助金では収容定員の超過による一定の減額措置がありましたが、想定通りとなりました。支出の部では、学生数増加に伴う固定費が増価傾向にありながらも、総額では約3百万円の増加に留めることができました。

活動区分資金収支計算書から見た資金の状況は、教育活動による資金収支が約287百万円のプラスとなりました。施設整備等活動による資金収支は、将来の施設設備更新に備え、減価償却引当特定資産への積立が1.5億円増加したため、約247百万円のマイナス、さらにその他の活動による

資金収支は、26百万円のマイナスとなりました。その結果、支払資金は約14百万円の増額となり、資金の状況は健全な状況を維持しています。

事業活動収支では、教育活動収支が約184百万円の黒字、少額の教育外収支を加えた経常収支で約186百万円の黒字を計上し、昨年に引き続き経常収支差額が黒字となりました。さらに特別収支で約7百万円を加えた基本金組入前当年度収支は、約193百万円の黒字となりました。現物寄付と施設設備投資による基本金の組入れは、約93百万円となり、当年度の収支差額は、約100百万円の黒字となりました。年度末の資産と負債等の状況は、貸借対照表の通り、約95億の資産を有し、負債は約10億円で、純資産は約85億となっています。

2019(令和元)年度 収支決算

【資金収支計算書】 2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,461,890	1,468,743	△ 6,853
手数料収入	19,117	21,900	△ 2,783
寄付金収入	4,788	4,767	21
補助金収入	128,522	128,523	△ 1
付随事業・収益事業収入	9,810	9,761	49
受取利息・配当金収入	2,351	2,464	△ 113
雑収入	76,023	77,302	△ 1,279
前受金収入	294,817	258,383	36,435
その他の収入	272,938	272,264	674
資金収入調整勘定	△ 366,700	△ 374,664	7,964
前年度繰越支払資金	1,444,437	1,444,437	—
収入の部合計	3,347,993	3,313,880	34,113

(単位:千円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	866,772	866,883	△ 111
教育研究経費支出	361,980	354,022	7,958
管理経費支出	148,451	139,295	9,156
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	57,930	56,382	1,548
設備関係支出	23,840	23,791	49
資産運用支出	400,000	350,000	50,000
その他の支出	182,268	202,282	△ 20,014
(予備費)	20,000	—	20,000
資金支出調整勘定	△ 129,983	△ 137,159	7,176
次年度繰越支払資金	1,416,735	1,458,383	△ 41,649
支出の部合計	3,347,993	3,313,880	34,113

【活動区分資金収支計算書】 2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日 (単位:千円)

		科 目	金 額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,468,743	
		手数料収入	21,900	
		特別寄付金収入	2,861	
		一般寄付金収入	1,906	
		経常費等補助金収入	122,061	
		付随事業収入	9,761	
		雑収入	77,302	
	支出	教育活動資金収入計	1,704,534	
		人件費支出	866,883	
		教育研究経費支出	354,022	
		管理経費支出	139,295	
		教育活動資金支出計	1,360,200	
差引		344,334		
調整勘定等		△ 57,557		
教育活動資金収支差額		286,777		
		科 目		
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備補助金収入	6,462	
		施設整備等活動資金収入計	6,462	
	支出	施設関係支出	56,382	
		設備関係支出	23,791	
		減価償却引当特定資産繰入支出	150,000	
			施設整備等活動資金支出計	230,172
	差引		△ 223,710	
調整勘定等		△ 23,179		
施設整備等活動資金収支差額		△ 246,889		
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		39,888		
		科 目		
その他の活動による資金収支	収入	退職給与引当特定資産取崩収入	170,000	
		預り金受入収入	1,593	
		小計	171,595	
		受取利息・配当金収入	2,464	
			その他の活動資金収入計	174,059
	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	200,000	
		仮受金支払支出	0	
		小計	200,000	
			その他の活動資金支出計	200,000
	差引		△ 25,941	
調整勘定等		0		
その他の活動資金収支差額		△ 25,941		
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		13,947		
前年度繰越支払資金		1,444,437		
翌年度繰越支払資金		1,458,383		

【貸借対照表の状況】 (単位:百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	1,544	負債	991
固定資産	7,998	基本金+繰越収支差額=	純資産: 8,551

【事業活動収支計算書】 2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日 (単位:千円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部			
	学生生徒等納付金	1,461,890	1,468,743	△ 6,853
	手数料	19,117	21,900	△ 2,783
	寄付金	4,788	4,767	△ 21
	経常費等補助金	122,060	122,061	△ 1
	付随事業収入	9,810	9,761	△ 49
	雑収入	76,023	77,302	△ 1,279
	教育活動収入計	1,693,688	1,704,534	△ 10,846
	支出の部			
	人件費	866,537	866,648	△ 111
教育研究経費	530,583	501,624	△ 28,959	
管理経費	163,637	152,662	△ 10,975	
徴収不能額等	0	0	0	
教育活動支出計	1,560,757	1,520,935	△ 39,822	
教育活動収支差額	132,931	183,599	△ 50,668	
教育活動外収支	収入の部			
	受取利息・配当金	2,351	2,464	△ 113
	教育活動外収入計	2,351	2,464	△ 113
	借入金等利息	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	2,351	2,464	△ 113
特別収支	収入の部			
	経常収支差額	135,282	186,063	△ 50,781
	その他の特別収入	6,762	7,971	△ 1,209
	特別収入計	6,762	7,971	△ 1,209
	資産処分差額	300	1,329	△ 1,029
	特別支出計	300	1,405	△ 1,105
	特別収支差額	6,462	6,566	△ 104
	基本金組入前当年度収支差額	121,744	192,629	△ 70,885
	基本金組入額合計	△ 112,842	△ 92,577	△ 20,265
	当年度収支差額	8,902	100,052	△ 91,150
前年度繰越収支差額	△ 3,203,748	△ 3,203,748	0	
翌年度繰越収支差額	△ 3,194,846	△ 3,103,696	△ 91,150	

【貸借対照表】 2020(令和2)年3月31日 (単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	7,997,632	固定負債	546,586
流動資産	1,544,112	流動負債	444,537
資産の部合計	9,541,744	負債の部合計	991,124
		基本金	11,654,317
		繰越収支差額	△ 3,103,696
		純資産の部合計	8,550,620
		負債及び純資産の部合計	9,541,744

※単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

2020(令和2)年度
予算編成に係る
基本的方針・収支予算書

【令和2年度予算編成方針】
(令和元年9月27日理事会決定)

【基本方針】

1. 経常収支差額の黒字を維持し、収支差額の赤字を極力抑えること
2. 将来の設備更新に備え、資金のストックができるよう努めること
3. 財務状況を踏まえ、適正な人件費配分とすること
4. 第2次中期計画との整合性を重視し、事業計画に基づく予算編成を実施すること
5. 事業計画策定にあたっては、費用対効果を念頭に、無理・無駄のない事業を計画すること
6. 学生や受験対象者等の重要なステークホルダーの視点を意識すること

【重点項目】

1. 認証評価受審への対応
 - ・自己点検・評価報告書の提出
 - ・認証評価実地調査への対応
2. 事業活動収入の安定的な確保
 - ・学生募集活動の積極的な取組
 - ・休退学者の抑制
 - ・経常費補助金の確保
 - ・受託事業収入の維持
3. 教育の質向上と多面的な学生支援の実施
 - ・教育力向上への取組への支援
 - ・奨学金事業の再設計
 - ・京都市京セラ美術館での卒業・修了制作展の円滑な実施
 - ・学生数に応じた教員配置
 - ・学習環境の整備
4. 学園創立50周年事業の計画
 - ・記念式典
 - ・学園史編纂(40～50)
 - ・教育施設の整備改修
 - ・募金事業の確立
5. 働き方改革への対応
 - ・同一労働同一賃金への対応

【2020(令和2)年度 資金収支予算書】		(単位:千円)	
収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
学生生徒等納付金収入	1,469,000	人件費支出	771,463
手数料収入	17,530	教育研究経費支出	411,227
寄付金収入	10,000	管理経費支出	157,445
補助金収入	100,120	借入金等利息支出	0
資産売却収入	0	借入金等返済支出	0
付随事業・収益事業収入	11,928	施設関係支出	29,180
受取利息・配当金収入	2,544	設備関係支出	60,237
雑収入	3,000	資産運用支出	200,000
前受金収入	294,817	その他の支出	129,307
その他の収入	75,650	〔予備費〕	30,000
資金収入調整勘定	△ 293,985	資金支出調整勘定	△ 78,609
前年度繰越支払資金	1,416,735	翌年度繰越支払資金	1,397,089
収入の部合計	3,107,339	支出の部合計	3,107,339

【2020(令和2)年度 活動区分資金収支予算書】		(単位:千円)	
教育活動による資金収支	科 目		予 算
	収入	学生生徒等納付金収入	1,469,000
		手数料収入	17,530
		特別寄付金収入	10,000
		一般寄付金収入	0
		経常費等補助金収入	100,120
		付随事業収入	11,928
		雑収入	3,000
	支出	教育活動資金収入計	1,611,578
		人件費支出	771,463
		教育研究経費支出	411,227
		管理経費支出	157,445
教育活動資金支出計		1,340,135	
差引		271,443	
調整勘定等		21,784	
教育活動資金収支差額		293,227	
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	0
		施設設備補助金収入	0
		施設設備売却収入	0
		施設整備等活動資金収入計	0
	支出	施設関係支出	29,180
		設備関係支出	60,237
		減価償却引当特定資産繰入支出	200,000
	施設整備等活動資金支出計		289,417
	差引	△ 289,417	
	調整勘定等	0	
施設整備等活動資金収支差額		△ 289,417	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)		3,810	
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	0
		預り金受入収入	4,000
		小計	4,000
		受取利息・配当金収入	2,544
		その他の活動資金収入計	6,544
	支出	借入金等返済支出	0
		預り金支払支出	0
		仮払金支払支出	0
		小計	0
		借入金等利息支出	0
		その他の活動資金支出計	0
		差引	6,544
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額		6,544
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		10,354
前年度繰越支払資金		1,416,735	
予備費		30,000	
翌年度繰越支払資金		1,397,089	

【2020(令和2)年度 事業活動収支予算書】		(単位:千円)	
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算
		学生生徒等納付金	1,469,000
		手数料	17,530
		寄付金	10,000
		経常費等補助金	100,120
		付随事業収入	11,928
		雑収入	3,000
	教育活動収入計	1,611,578	
	事業活動支出の部	人件費	776,847
		教育研究経費	576,227
管理経費		172,462	
徴収不能額等		0	
教育活動支出計		1,525,536	
教育活動収支差額		86,042	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	2,544
		その他の教育活動外収入	0
	教育活動外収入計	2,544	
	事業活動支出の部	借入金等利息	0
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	0
教育活動外収支差額		2,544	
経常収支差額		88,586	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	300
		特別収入計	300
	事業活動支出の部	資産処分差額	300
		その他の特別支出	0
		特別支出計	300
	特別収支差額		0
〔予備費〕		30,000	
基本金組入前当年度収支差額		58,586	
基本金組入額合計		△ 44,417	
当年度収支差額		14,169	
前年度繰越収支差額		△ 3,194,846	
翌年度繰越収支差額		△ 3,180,677	
(参考)			
事業活動収入計		1,614,422	
事業活動支出計		1,555,836	

入学宣誓式報告

2020年度入学宣誓式は、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、検討を行った結果、中止といたしました。入学宣誓式は新入生にとっては新しい第一歩を踏み出す、そしてご家族の皆様にとっても節目となる大切な行事ではありますが、参加予定の方々の健康と安全、および感染拡大防止を考慮し、このような結論に至りました。入学宣誓式は残念ながら中止となりましたが、教職員一同、新入生の皆様のご入学を心より歓迎いたします。なお、本年度の入学生は右記の通りです。(管理運営グループ)

2019年度進路概況

2020年3月(2019年度)卒業・修了生の就職状況については、就職希望者に対し大学が90.1%(大学院含め89.3%)、短期大学が79.1%(専攻科含め77.2%)、大・短合わせ82.4%という就職率となりました(2020年5月1日現在)。おもな就職先は右の通りです。大学院、専攻科等への進学者は、大・短合わせ30名でした。現在就職活動中の21卒生は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、就職活動が停滞している状況にあります。多くの大規模合同説明会や会社個別説明会の中止や延期が相次いだのに加え、採用活動を続ける会社もオンラインでの説明会や面接実施に切り替える動きが急速に広まり、就活生たちは例年とはまったく違う環境での就職活動を余儀なくされています。大学の入構禁止も長引く中、キャリア支援窓口では就活アプリ「SAGABiz」や学生ポータルを使った情報配信、

【嵯峨美術大学大学院】

●芸術研究科 8名

【嵯峨美術大学】

●造形学科 59名(内3年次編入生2名)
●デザイン学科 119名(内3年次編入生8名)

小 計 178名(内3年次編入生10名)

【嵯峨美術短期大学】

●専攻科 20名
●美術学科 186名

小 計 206名

合 計 392名(内3年次編入生10名)



Web面談やメール相談などオンラインでのサポートは続けてきましたが、ここからが本当の正念場であり、この非常事態下におけるサポート体制の構築を急いでいます。
(教務・学生支援グループ キャリア支援窓口)

【20卒のおもな就職先】

【広告・デザイン・Web・IT・印刷】 博報堂プロダクツ、あとらす二十一、エイエイピー、サンデザインアソシエーツ、デザインオフィス・ユニ、永昌堂印刷、昌和印刷、オノフ、グラフィック ウェイヴ、日本気象他
【ゲーム・ホビー・アニメ】 サンライズ、ボークス、クリエイティブハウス ポケット、ルーデル他 【プロダクト・空間・染織・工芸等】 ソニック、マリオ、伊吹、光映工芸、尾崎織マーク、宇仁繊維、マルイチセーリング、山元他 【事務・販売・総合職】 Mother's Industry、すみや亀峰菴、ヨドバシカメラ、俵屋吉富他 【福祉・教育】 寝屋川市立中学校、社会福祉法人福知山学園他

NEWS

告知

2021年度大学案内が完成しました!

昨年度秋頃より制作を進めてきた2021年度大学案内がこの度完成いたしました。今年度は「つくり手のまなざし」をテーマに、作品制作に打ち込む学生の写真を多く掲載し、美大の雰囲気をより感じてもらえる大学案内となりました。

各学科領域の紹介はもちろん、学生の制作に打ち込む様子や、大学を取り巻く嵐山の風景など、嵯峨美の日常がみえる美大らしい大学案内になっています。また、各領域ページではYouTubeにて配信している各領域の学生インタビュー動画をQRコードを付けて紹介。動画との連動企画で、嵯峨美の学びをよりリアルに伝えています。

嵯峨美の学びと環境、教員と学生のまなざしを伝えるこの大学案内が、今年度の学生募集に役立つことを願っています。(入学広報グループ)



入学関係情報

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来校型の学生募集イベントは中止または縮小して開催します。5月31日(日)には新たな取り組みとしてWEBオープンキャンパスを開催し多数の受験生に参加していただきました。6月からは人数を限定し、開催時間も短縮するなど感染症予防に配慮しながら、段階的に来校型の学生募集イベントを再開する予定です。併行して電話やオンライン通話等の非来校型の入学相談も実施しています。詳細は随時本学WEBサイトにて告知予定です。

入試においては、文部科学省の大学入試改革の一環として、本学ではすでに実施してまいりました、学力の3要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を多面的・総合的に評価することに加え、新たに導入されたルールに基づき、入試名称や一部の入試の実施時期の変更を行っています。一方、合格者に年間50万円の奨学金が給付されるスカラシップ(特別奨学生)選抜や、本学園卒業生・在学生の父母、子弟子女または兄弟姉妹の方を対象とした、入学金を全額免除するファミリー入学奨学金などを継続し、受験生の経済的負担の軽減を図っています。(入学広報グループ)

TOPICS

展覧会報告

KYOTO駅ナカアートプロジェクト2020

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で地下鉄のイメージアップを図り、活力ある京都のまちづくりに寄与することを目的とする「KYOTO駅ナカアートプロジェクト」は9年目を迎え、今年も嵯峨美術大学が二条駅、嵯峨美術短期大学が太秦天神川駅にて、3月24日(火)から展示されています。(2020年夏過ぎまで展示予定)

嵯峨美術大学は大学院芸術研究科が担当し、「グルグルワウー」と題して、「日常の小さな気づきから輝く発見」をテーマに地下鉄駅に続く地下通路の一部をそのままインスタレーション作品にしました。壁面に貼られたミラーシートに反射した歪みによって、タイルが敷き詰められた壁に変化をもたらします。色をつけた蛍光灯の光は一部の空間を染めると共に、ミラーシートへも反射し空間全体に新鮮さを

生み出します。この空間を通る人たちが出会う小さな変化が、各自の新しい輝きの発見に繋がることを狙いました。嵯峨美術短期大学は京都に訪れた太秦天神川駅の利用者に向け「きょうの旅いつてらっしゃい」とおもてなしと旅先へ送り出す気持ちを表現したメッセージに日本の伝統模様であるチドリ柄を組み合わせ、駅構内をチドリと一緒に旅しているような「チドリと旅する、きょうの旅」をテーマに作品を制作しました。学内募集をして集まった多分野多領域からの学生12名が同じテーマでありながら、それぞれの領域の特徴や作家性を活かし個性的な作品として表現しています。全10作品を展示した駅構内はさながら『太秦天神川駅美術館』として京都を訪れた観光客はもちろん、普段何気なく駅を利用している利用客にもひと時の彩を与えるものになったのではないのでしょうか。
(嵯峨美術大学・江村耕市教授、嵯峨美術短期大学・西谷福朗講師)



新型コロナウイルス感染症の影響下での学修支援について

新型コロナウイルス感染症の影響により、大学への入構禁止期間が長く続きましたが、5月18日(月)から遠隔授業により本年度の授業が始まりました。今後も感染症の収束まで予断を許さない状況が続くなか、本学は学生や教職員の安全確保を図りながら、美術大学としての教育・研究活動の維持をどう図っていくか、検討を重ねてまいりました。美術教育には、アトリエや工房での制作実習が不可欠であり、完全オンライン授業への移行は困難です。したがって本学は、可能な限り学生の制作時間を確保するため、年間の学事日程について拙速に判断せず、状況を見据えながら授業開始のタイミングを図ってまいりました。

京都府からの休業要請も解除され、6月からは感染症予防対策を施したうえで、対面授業および制作アトリエの使用を、段階的にではありますが再開してまいります。そこで、少しずつ本来の嵯峨美での学びに戻っていただく学生に対し、これからの制作活動への支援こそが最も必要だと考え、以下の支援策の実施を決定いたしました。

関係各位におかれましては、今後の学びの確保につき、ご不安をお持ちのことと存じますが、本学は今後も政府や自治体からの要請に対応しながら、感染症の防止と「美術大学の学び」を可能な限り両立すべく教職員一丸となって取り組んでまいります。

各制度の詳細につきましては本学Webサイトにてご案内しておりますのでご確認ください。

1 制作支援奨学金の給付

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に美術大学生としての制作活動に多大な制約が発生したことを鑑み、今後の制作活動への支援金として全学生に一律3万円を給付いたします。

2 ワークスタディ奨学生の募集枠の拡大

本学では、経済的に修学困難で、授業の空き時間や休日に計画的に一定時間以上大学業務の補助作業に従事する学生に対し、奨学金を給付する「ワークスタディ奨学金」制度を設けています。本年度の定例募集に加え、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりアルバイト収入の激減・中止等、経済的影響を受けている学生を対象に、緊急採用として業務を限定し、募集します。

3 学業継続支援金の給付

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により家計が急変した在学生の学業継続を支援するため、条件を満たす場合に、授業料の30%(大学院24万円/大学(四年制)36万円/短大30万円/専攻科29万円)を、後期学費を減免するかたちで給付します。

4 オンライン授業受講用ノートPCの貸与

オンライン授業を受信するための端末を持っていない学生を対象に、ノートPC(Chrome book)を無償貸与しています。

5 学費納入期限の延長

新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変し、期限内での授業料納入が困難な学生に対し、学費の納付期限を延長します。

6 短期貸付金の増額

家庭からの仕送り遅延や不測の事態発生によって金銭の調達が困難になった学生に対し、経済上、緊急でやむを得ない必要が生じたと判断される場合に、短期貸付金の貸与を行っています。通常2万円を限度としていますが、新型コロナウイルスの影響により家計が急変した学生のために金額を5万円に増額します。

大学関連行事予定 Jun.2020 — Spt.2020

6月 14日(日) …… 体験入学 8月 23日(日) …… オープンキャンパス
7月 26日(日) …… オープンキャンパス 9月 12日(土) …… 総合型選抜1期<体験授業型>

※体験入学及びオープンキャンパスは、人数を限定し、時間を短縮して実施する予定です。
※附属博物館・附属ギャラリーについては当面の間、休館いたします。

萌黄色
今季の色

萌黄色(もえぎいろ)とは、春先に萌え出る若葉のようなさえた黄緑色のことです。平安時代から用いられた伝統ある色名で、別に「萌木」とも表記します。新緑の若木の色ということから若さを象徴する色であり、平安時代では若者向けの色として愛好されました。



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <https://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第73号 2020年6月15日発行 編集:嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行:学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

